

No.	014	—	2037	事務事業名	市単独土地改良事業補助金				公的関与	9			
PLAN	課名	農林振興課		係名	農林土木係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興			主要施策	5 農業生産基盤の充実		
	事業の目的	農業生産基盤を整備し、農業生産性の増進と農業経営の改善を図るため。					根拠法令等	東温市単独土地改良事業補助金交付要綱					
	事業の手段	土地改良区及び自治区から要望があった農道及び水路の整備を実施します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
				指標設定になじまない			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	地元からの事業要望のとりまとめ				④	工事の契約執行事務					
		②	関係機関との協議・調整				⑤	工事の監督					
		③	補助金の交付申請から請求										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	13,654千円	12,288千円	13,000千円								
	計(A)	13,654千円	12,288千円	13,000千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.456人	2,846千円	0.457人	2,854千円	0.544人	3,375千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		16,500千円	15,142千円	16,375千円									
一次評価者	農林土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年の厳しい農業情勢を受け、農業経営の安定化を図るためには、補助金を交付することにより農業生産基盤を整備することが必要不可欠です。												
有効性	事業実施により、防火用水等の地域の生活用水としての利用、及び農道の生活道路との兼用等、農家だけでなく非農家に対しても事業効果が享受されています。												
達成度	事業実施地区においては、農業用施設の維持管理労力の軽減や安定性の向上等について農家から高い評価を得ています。												
効率性	東温市財務規則に準じ、適正な価格で工事実施できるよう努めています。												
当面の課題	事業実施に積極的な地域とそうでない地域があり、土地改良区及び自治区への事業内容の周知が必要です。												
改訂計画	事業内容のアピール及び、周知方法等を検討。また、補助要件・実施要綱等の紹介方法についても検討します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農業の生産性向上と経営改善を図るため、土地改良区や自治区が行う土地改良施設の整備に係る支援を継続してください。												

No.	014	—	2148	事務事業名	県営農地中間管理機構関連事業				公的関与	9			
PLAN	課名	農林振興課		係名	農林土木係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	令和3年度～令和7年度			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農林業の振興			主要施策	5 農業生産基盤の充実			
	事業の目的	南吉井地区(田窪・北野田)の狭小で不整形な農地の荒廃化を防止するため。					根拠法令等	土地改良法					
	事業の手段	ほ場整備事業により耕作しやすい大区画農地に整備し、農地中間管理機構を通して担い手に集積・集約します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
				指標設定になじまない			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	① ほ場整備推進委員会(換地委員会)の設置、協議				④	本工事の推進						
		② 事業計画書の作成				⑤	負担金事務						
		③ 換地計画及び調整											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費			令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考						
		国・県支出金		995千円	0千円	8,000千円							
		地方債		1,100千円	0千円	3,600千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		1,449千円	1,386千円	400千円							
	計(A)		3,544千円	1,386千円	12,000千円								
人件費(B)	正職員工数・経費		0.382人	2,384千円	0.382人	2,386千円	0.382人	2,370千円					
	臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
全体事業費(A+B)		5,928千円		3,772千円		14,370千円							
一次評価者	農林土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	農業者の高齢化や後継者不足により農地の保全管理が厳しい状況において、農業経営の効率化を図るためには、狭小で不整形な農地や道水路等の整備が必要です。												
有効性	道水路の整備に伴う農作業の省力化に加え、防火用水等の地域の生活用水としての利用や農道の生活道路との兼用等、農家だけではなく非農家に対しても事業効果が享受されています。												
達成度	ハード整備に加え、農地中間管理機構を通じて担い手への農地集積を推進し、さらに高収益作物を導入し、産地化を目指し、魅力ある地域農業の確立を図ります。												
効率性	東温市財務規則に準じ、適正な価格で事業実施できるよう努めています。												
当面の課題	ハード整備に加え、農地中間管理機構を通じて担い手への農地集積を図る必要があり、貸し借りの調整や手続き関係が煩雑となるため、地権者に対し十分な説明が必要です。												
改計画	委員会を通じ、地元説明会やピラ等により関係地権者に十分理解してもらえるよう検討します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	ほ場整備事業や換地業務について、地域や地権者に対し丁寧に説明し、円滑な事業推進に努めてください。												

No.	014	—	2161	事務事業名	ため池ハザードマップ作成事業				公的関与	1			
PLAN	課名	農林振興課		係名	農林土木係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	令和3年度～令和3年度			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	3 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成				
	事業の目的	近年の異常気象による豪雨や大規模地震の発生によるため池の決壊被害に備え、地域での避難活動を軸としたソフト面からの防災・減災対策を図るため。					根拠法令等	農業用ため池の管理及び保全に関する法律					
	事業の手段	ため池のハザードマップを作成し、公表することによりソフト面からの防災・減災対策に活用します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
				指標設定になじまない			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	国庫補助金の交付事務				④						
		②	ため池ハザードマップ作成委託業務の実施				⑤						
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費			令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考						
		国・県支出金		15,684千円	14,819千円	5,000千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		0千円	0千円	0千円							
	計(A)		15,684千円	14,819千円	5,000千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.132人	824千円	0.132人	824千円	0.132人	819千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		16,508千円		15,643千円		5,819千円							
一次評価者	農林土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	ため池ハザードマップにより災害の情報を提供することは、防災・減災対策の充実を図る上で必要です。												
有効性	ため池ハザードマップを避難場所の確認や防災訓練等で活用することは、防災意識の向上と防災活動の啓蒙を図る上で有効です。												
達成度	ため池ハザードマップが避難場所の確認や防災訓練等で活用されることで、防災意識の向上と防災活動の啓蒙が図られます。												
効率性	国の補助金事業を活用して、効率的な事業実施に努めています。												
当面の課題	地元や各地域の防災活動において、ため池ハザードマップが広く活用できるように提供する必要があります。												
改計画	各公民館や集会所でのため池ハザードマップの配布します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ため池ハザードマップの早期完成と、地元における有効活用に向けた取組を推進してください。												